

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 14 日 (2014.8.14)

【公表番号】特表 2013-530656 (P2013-530656A)

【公表日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2013-040

【出願番号】特願 2013-518709 (P2013-518709)

【国際特許分類】

H 0 4 R 31/00 (2006.01)

H 0 4 R 11/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 31/00 Z

H 0 4 R 11/02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 24 日 (2014.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

バランスドアーマチャトランスデューサ組付体を形成する方法であって、  
ドライブピンを形成するフィードワイヤを、リードのワイヤ接触点上に位置特定することと、

前記リードを溶融して前記フィードワイヤの第 1 端を前記リードの中に進行させること  
によって、前記フィードワイヤの第 1 端を前記リードに溶接することと、

前記フィードワイヤを切断して前記ドライブピンを形成することと、

前記ドライブピンをパドルに固定することと

を含む方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

バランスドアーマチャトランスデューサ組付体を形成する方法であって、  
ドライブピンを形成するフィードワイヤをリードにおいて、前記リードを前記フィードワイヤに接触させることによって位置特定することと、

前記リードを第 1 レーザにより溶融して前記フィードワイヤの第 1 端を前記リードの中  
に進行させることによって、前記フィードワイヤの第 1 端を前記第 1 レーザにより前記リ  
ードにレーザ溶接することと、

第 2 レーザにより前記フィードワイヤをレーザ切断してドライブピンを形成することと、

前記ドライブピンをパドルに接着することと

を含む方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

ドライブピンをバランスドアーマチャトランスデューサのリードに形成する方法であって、

フィードワイヤをリードのワイヤ接触点に接触させて配置することと、

前記リードに熱源を向けて前記ワイヤ接触点に近接する前記リードの一部を液化することと、

前記フィードワイヤを前記リードの液化された前記一部の中に進行させることと、

前記リードの液化された前記一部を凝固させて前記リードと前記フィードワイヤの間に溶接部を形成することと

を含む方法。